



グローバル情報技術で笑顔を創る  
株式会社 SYSホールディングス



証券コード：3988

# INVESTORS' GUIDE

The 9th Period

## 第9期 株主通信

2021年8月1日>2022年7月31日

### ごあいさつ

世界はウィズコロナの潮流で、ようやく経済も活性化すると思いきや、半導体不足に加え、ロシアのウクライナ侵攻や、台湾問題における米中対立などに端を発し、食糧・エネルギー等が高騰し、近年に無かったインフレが起き、世界経済はますます混沌としてきました。

このような中、第9期は、期初予想を大きく上回り、売上高75億76百万円、営業利益4億35百万円と何れも過去最高、4期連続の増収増益を果たすことができました。これは、株式上場以来、より付加価値の高い情報サービスを担えるよう、最大限に人材投資とM&Aを行ってきたことが、既存事業の着実な成長に繋がったことによります。

これもひとえに、株主の皆様始め、携わったすべての皆様のご愛顧、ご支援によるものと厚く御礼申し上げます。

第10期は、売上高85億円、営業利益5億10百万円と5期連続の増収増益を予想しており、初めての中期経営計画も発表し、2025年には売上高110億円、営業利益7億円を目指し、2030年には、売上高300億円、営業利益24億円を目指す、高い目標を掲げます。

世界経済は混沌としていても、レガシー遺産の維新やDX(デジタルトランスフォーメーション)による情報システム需要は着実に高まっており、経済産業省の予測では2025年には45万人、2030年には80万人のITエンジニアが不足すると予測されていることから、IT業界の需要は確実にあると考えております。このような状況に対応するため、採用と育成に対する人材投資を一層に高め、6%の待遇改善を行い技術者の定着性を高め、積極的なM&Aで幅広い技術とサービスを獲得していく所存でございます。

DXに加え、脱炭素社会(カーボンニュートラル)の実現に向けた取り組み等で、より一層に情報システム需要は高まると予想しております。更なる成長を目指し、一歩ずつ着実に進んで参りますので、より一層のご愛顧、ご支援を賜りますよう、深くお願い申し上げます。

代表取締役 会長兼社長



## 事業の概況

Business Highlight

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの変異株の流行が依然として続いているものの、経済活動の正常化が進んだことにより国内経済に回復の動きが見られました。しかしながら、ウクライナをめぐる国際的緊張の高まりが長期化し、エネルギー価格の高騰や世界的な物価の上昇、サプライチェーンの混乱等から、日本経済の先行きは不透明な見通しとなっています。

当社グループが属する情報サービス産業においては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2022年6月分確報」の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比4.9%増と3か月連続の増加、「受注ソフトウェア」は、同6.3%増と3か月連続の増加となりました。

このような経済状況の中、当社グループは、新型コロナウイルスの流行に対応し、テレワークの実施やリモート会議の活用等により事業の継続に努め、一部プロジェクトの延期や遅延による受注の減少に対して、新規受注の獲得や、顧客からの信頼を獲得し、リスクが低く安定した収益が期待できるリピートオーダーの提案・受注に努めました。

それらの結果、社会情報インフラ・ソリューションの顧客からの受注が堅調に推移したことや、M&Aによる新規連結子会社の増加等が売上高増加の要因となりました。

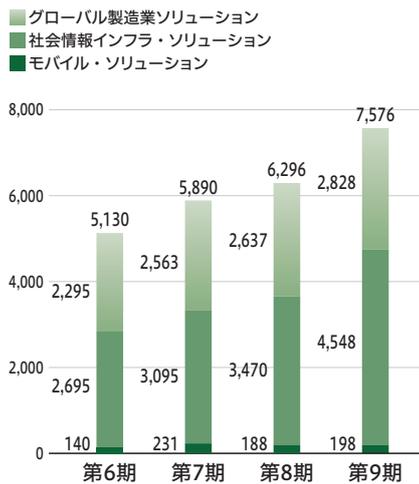
また、採用抑制の解除に伴う教育・待機工数の増加や待遇改善による人件費の増加に加え、インドネシアのロックダウンに伴う、技術者の就業場所確保のためのホテル賃借料等の対応関連費用の計上等により利益を落としたものの、売上高の増加による利益の増加等により営業利益が増加しました。また、前年同期に特別利益として計上した、投資有価証券売却益が当期は計上されなかったものの、営業利益が増加したこと等により親会社株主に帰属する当期純利益が増加しました。

以上の要因により、当連結会計年度における連結業績は、売上高7,576,146千円(前期比20.3%増)、営業利益435,697千円(前期比14.2%増)、経常利益457,369千円(前期比15.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益305,976千円(前期比10.6%増)となりました。

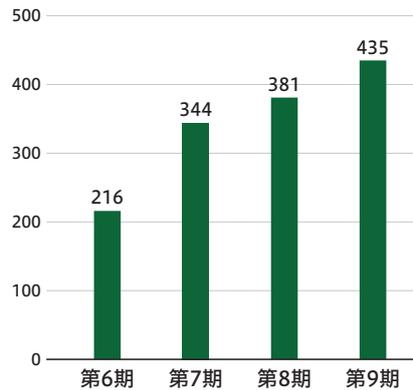
## 業績ハイライト

Financial Highlight

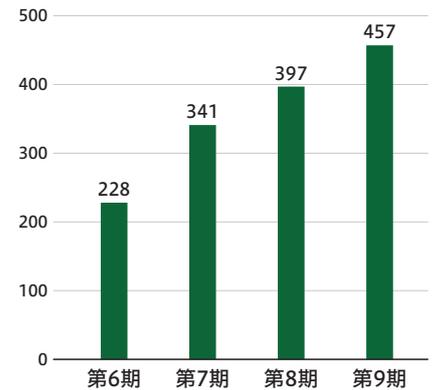
### 売上高 (単位：百万円)



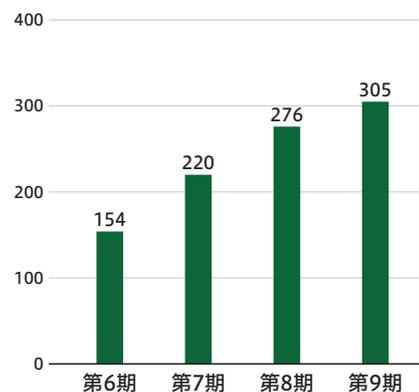
### 営業利益 (単位：百万円)



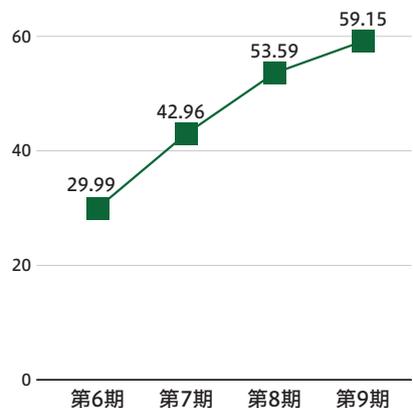
### 経常利益 (単位：百万円)



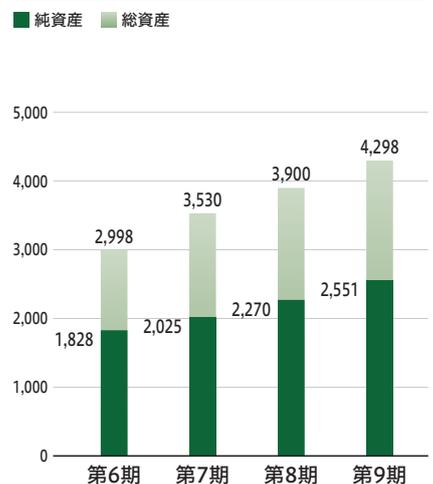
### 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



### 一株当たり当期純利益 (単位：円)



### 純資産/総資産 (単位：百万円)



※当社は、2022年2月1日に1株につき2株の株式分割を行っております。上記「一株当たり当期純利益」のグラフでは、第6期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定した場合の数値を表示しております。※記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

わが国経済は、ウクライナをめぐる国際的緊張の高まりが長期化し、エネルギー価格の高騰や世界的な物価の上昇、サプライチェーンの混乱等により、先行きは不透明な状況にあります。

しかしながら、当社グループが属する情報サービス産業については、DX(デジタルトランスフォーメーション)市場の拡大や、レガシーシステムの刷新等の需要が見込まれるほか、企業の競争力維持のためのソフトウェア投資は引き続き一定の需要があるものと思われます。定常化しているIT技術者の人材不足についても継続する見通しです。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き一定の需要が見込まれる

顧客からの受注を進める一方、受注時のリスク見極めの強化や見積精度の向上、各現場での生産性の向上による収益性の向上に努める方針です。また、従業員の採用や待遇改善による費用の増加を見込んでおります。また、情報システム投資による業務効率の向上は引き続き継続し、M&Aは積極的に推進する方針です。

2023年7月期の連結業績につきましては、売上高8,500百万円(当連結会計年度比12.2%増)、営業利益510百万円(当連結会計年度比17.1%増)、経常利益510百万円(当連結会計年度比11.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益330百万円(当連結会計年度比7.9%増)と予想しております。

トピックス

M&Aの実績

株式会社スレッドアンドハーフ  
2021年11月1日 全株式を取得し、子会社化



THREAD(糸)+HALF(半)  
THREAD & HALF

絆

糸と半合わせて絆(きずな)それを&(安堵)で繋げる事で「人と人の絆を大切にすることにより安心を提供できる企業」を目指しています。

グループ間の  
営業連携や採用連携等で  
事業の拡大を目指す

- 設立/2008年5月
- 所在地/東京都千代田区神田美倉町  
※所在地は取得時
- 事業内容/コンピュータシステムの  
開発・販売・運用
- 従業員数/18名(2021年8月末時点)

右: 株式会社スレッドアンドハーフ  
代表取締役 岩崎 浩

マグナシステム株式会社  
2022年5月2日 全株式を取得し、子会社化



- 設立/1991年5月
- 所在地/東京都新宿区早稲田鶴巻町  
※所在地は取得時
- 事業内容/コンピュータソフトウェアの  
開発・販売・運用
- 従業員数/13名(2021年12月末時点)

右: マグナシステム株  
代表取締役 久保田 守勇

▶2022年7月1日

ノウハウ・経営資源の統合と  
経営効率化を目的とし、  
事業内容が近く  
親和性の高いORGと合併

「夏のリコチャレ2022」・内閣府イベントに参加

株式会社エスワイシステムが  
内閣府男女共同参画局主催  
「夏のリコチャレ2022」に参加し、  
小学生向けのプログラミング体験教室を開催

リコチャレ(理工チャレンジ)

女子中高生・女子学生の皆さんが、理工分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択(チャレンジ)することを応援するため、内閣府男女共同参画局が中心となって行っている取り組み



上記の取り組みを評価いただき、  
内閣府男女共同参画局からの依頼を受け、  
「こども震ヶ関見学デー」にて  
プログラミング体験イベントに協賛

参加人数  
計57名



若手経営者の活躍

大きく成長している当社グループ事業会社では、  
若手経営者が活躍しています。

事業会社経営者  
平均年齢  
**49**歳

最高年齢78歳  
最低年齢28歳  
事業責任者: 総人数 14名

新規事業(アカデミー事業部)発足

開発エンジニアとして必要な能力をすべて身につけられる、  
ISA(授業料の出世払い)制度を採用した教育事業を開始

【カリキュラム(仮)】

- ✓ 毎月開校  
4か月(800時間学習)
- ✓ 開講時間はいつでも質問OK
- ✓ 最終月は仮想プロジェクトを実施
- ✓ 学習用動画100本提供
- ✓ コミュニケーション・  
ビジネスマナー研修30時間
- ✓ キャリア研修
- ✓ 先輩社員研修

IT業界で働きたいけど、今お金がない...

開発エンジニアとして、キャリアを進めたい!

授業料を出世払いできる、就職率100%の未経験者向け開発エンジニア人材養成教室を開校します!

ISA(Income Share Agreement)=所得分配契約

今お金がなくて学習の機会を逃している方に利用いただき、入社後の給与から授業料を支払っていただく仕組み

深刻な  
IT人材不足の解決へ

会社概要 (2022年7月31日現在)

会社名	株式会社SYSホールディングス
英訳名	SYS Holdings Co.,Ltd.
所在地	愛知県名古屋市中区代官町35番16号
設立	2013(平成25)年8月1日
資本金	376,864千円
従業員数	1,034名(グループ含む)
連結子会社	(株)エスワイシステム (株)SYI (株)エス・ケイ (株)総合システムリサーチ (株)グローバル・インフォメーション・テクノロジー (株)テクノフュージョン (株)オルグ サイバーネックス(株) (株)レゾナント・コミュニケーションズ (株)スレッドアンドハーフ PT.SYS INDONESIA

役員 (2022年10月27日現在)

代表取締役会長兼社長	鈴木 裕紀
取締役専務執行役員	後藤 大祐
取締役	一柳 泰行
取締役	玉本 真也
取締役(社外)	岩田 則子
取締役常勤監査等委員	堀江 克由
取締役監査等委員(社外)	森戸 尉之
取締役監査等委員(社外)	深井 貴伸

株式の状況 (2022年7月31日現在)

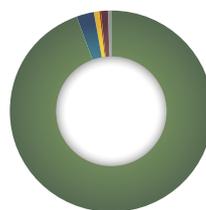
発行可能株式総数	16,000,000株
発行済株式の総数	5,197,266株
株主数	1,405名

大株主 (2022年7月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
鈴木 裕紀	2,585,098	49.89
安田 鉄也	721,344	13.92
SYSHDグループ従業員持株会	356,400	6.87
長崎 純一	53,000	1.02
楽天証券株式会社	44,800	0.86
瀬戸信用金庫	40,800	0.78
株式会社三井住友銀行	40,000	0.77
株式会社百五銀行	40,000	0.77
上田八木短資株式会社	31,800	0.61
堀江 克由	24,000	0.46

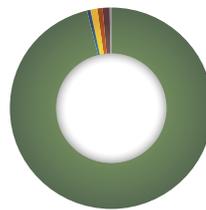
(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況 (2022年7月31日現在)



株式数構成比

個人・その他	4,910,894株	94.48%
金融機関	141,900株	2.73%
その他国内法人	45,809株	0.88%
外国人	14,600株	0.28%
金融商品取引業者	68,063株	1.30%
自己名義株式	16,000株	0.30%



株主数構成比

個人・その他	1,353名	96.29%
金融機関	5名	0.35%
その他国内法人	18名	1.28%
外国人	11名	0.78%
金融商品取引業者	17名	1.20%
自己名義株式	1名	0.07%

株主メモ

Information for Shareholders

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
基準日	定時株主総会 7月31日 期末配当 7月31日 中間配当 1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告方法	電子公告 アドレス: <a href="https://www.syshd.co.jp/">https://www.syshd.co.jp/</a> ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。